

27年度敬老祝賀会

9月15日（火）特別養護老人ホーム翠明院では、ご利用者お一人お一人の長寿と感謝の気持ちを込めて敬老祝賀会を行いました。施設から米寿を迎えられた方にお祝いの記念品を贈呈、他の皆さまにも記念品を贈呈式典後には、皆さんが楽しんでいただけるよう有志によるスズランの会様の余興の踊りを披露。

「にほん花坂音頭」「佐渡こいおけさ」「いなべ音頭」「炭坑節」など、手拍子する方、手の動きに合わせて踊る方などの姿もあり、皆さん楽しんでおられました。

祝膳として、敬老御膳を提供させていただきました。助六寿司、きすの磯部フライ、冬瓜とワカメのスープ・・・



豪華な品々が並ぶ御膳は大好評で、桑名文化専門学校からいただきました洋菓子マドレーヌ、も、これも「美味しい」と大好評でした。

皆さんから「こんな楽しい会を開いてくれてありがとう、まだまだ長生きしなきゃね」「今日は楽しい余興も鑑賞できたし、美味しい御膳を食べて贅沢な1日やな」等々の言葉が飛び交っていました。

最後に皆さんと、来年の敬老祝賀会に参加していただく事を約束しました。皆さんから職員に素敵な笑顔で元気を下さったり、一緒に過ごす事で、毎日多くの事を学ばせていただいております。これからも、もっともっと沢山の事を皆さまから学び、職員一同精進して参りますので宜しくお祈り致します。ご協力いただきましたスズランの会様ありがとうございました。



収穫の秋

9月に稲刈りを行いました
入居者の方々にもご協力



いただき、昔ながらの方法で、鎌で稲を刈り、はざかけをしました。皆さま慣れた手付きで職員が教わりながら作業を行い、また、収穫した稲の脱穀も行いました。細かい作業でしたが、

入居者の方々にも協力いただき、楽しく行うこと
出来ました。皆さん、稲の匂いをたっぷり味わっているようで、昔を懐かしんでおられました。



レクリエーション大会

毎月、余暇活動委員会が
中心となってレクリエーシ



ョンを行っています。入居者の方々の生活に「笑顔」を増やすことが目的としています。

また、手先を動かし頭を使うことは、皆さんの健康にはとても良いことのようにです。これからも皆さんが楽しんでもらえる企画を考えていきます。



余暇活動

毎月の合同レクリエーションを行っています

が、その他にも余暇活動として、パズルや折り紙などをしていただいています。最初は、「こんな出来ひんよ」とのお声もありましたが、いざ始めると折り紙とにらめっこしながら楽しんでいただいています。これからも、入居者の方々に楽しんでいただける余暇活動を考え皆様には、毎日を健やかに過ごしていただけるよう努めたいと思います。



慰問

9月6日(日) 畑中御一行様が、慰問に来て下さいました。



素敵な歌声を披露していただき、声を出して歌う人、口ずさむ人、目をつむって聴き入る人、車いすに座ったまま身体をゆすり人など、短い時間ではありましたが、皆さん、楽しみ心身のリラックスに繋がりました。



畑中御一行様、ありがとうございました。

秋の味覚～さんま～

10月1日(木) 秋といえば、「炊き込みご飯」「秋刀魚の塩焼き」という事で、バーベキュー

コンロを使い、秋刀魚を焼いてみました。秋の味覚の定番。炭焼きの秋刀魚は香りといい、また格別でした。辺りには香ばしい香りが広がり、皆さん、「美味しい」「初物」など舌鼓を打っておられました。来年も、秋刀魚の美味しい季節になったら食べていただきたいと思います。



この夏、少しでも涼しく過ごして頂こうと、手づくりうちわを作りました。塗り絵を数種類ご用意し、お好きなものを選んでいただきました。「どれにしようかな」と考えながら、好きな色を選び集中して取り組まれていました。作品が出来上がると満面の笑みで「いいのが出来たね、気に入ったよ」と言葉が聞かれました。



《編集後記》 「刻苦光明必ず盛大なり」という語があります。刻まれた労苦には必ず光輝く喜びがはね返ってくるという意味です。私達が日常の中で刻んでいく経験や苦労には、それに見合った成果があり、職員もご利用者に真心を尽くせば必ず報われる。人の為に尽くす心を持ち合わせ接していけば、必ずその心は通じると信じています。反対に、人に対して向き合う姿勢を見せなければ、それに応じたはね返りを受けることになると思っています。職員一同、仕事の影に、刻苦光明を心に刻み日々精進です。